

日本電子精機株式会社

〈事業計画名〉スポットニス印刷用フレキシ版の開発と厚み精度向上に伴う設備導入



独自ノウハウ活用による課題解決 新市場参入の為の新製品開発

事業の背景

Passion for innovation -革新への情熱-

当社は約40年以上「フレキシ印刷」に関連する機械装置・感光性樹脂版・関連部材等の開発・製造事業を展開している。

フレキシ印刷とは凸版印刷の1種であり、感光性樹脂版（フレキシ版）の凸部に水性インクを付着させ基材に転移させる印刷方法で、平滑性の低い基材に印刷する事に適しており、主にダンボールや紙パック、衛生用品等、様々な基材の印刷に用いられる。

近年の技術改良によって高線数で精巧な多色表現が実現している。中でも部分的にニスを重ねて印刷物をコーティングし、艶や質感を持たせる「スポットニス印刷」とは相性が良い。

スポットニス印刷は高い平滑精度を要求されるが、フレキシ版自体が高い平滑性を持つ為、フレキシ・スポットニス印刷の需要が増加し、ニス印刷用フレキシ版市場が急速に拡大されている。

当社が取扱う従来のフレキシ版に加え、ニス印刷用フレキシ版市場にも参入すべく、製造工程と技術面の課題解決を目標に本事業に取り組んだ。

事業の成果

新市場に適応する製造体制の構築

ニス印刷用フレキシ版は厚さ1mm以下で誤差±15μ前後の高精度な版厚が要求される。長年フレキシ版生産を行っている当社でも非常に難易度が高く、本事業において生産工程の見直しを行い、「生産時の厚み精度の向上」「厚みの測定精度・検査力の向上」「生産効率の向上」の3点を課題とした。

生産時においては樹脂原料供給精度が厚み精度に影響する為、原料搬送用ポンプおよび流量計を刷新し、測定・検査工程においては、より高精度な測定器を導入した。

更に長年蓄積した自社独自のノウハウで機器に改良を施し、各生産工程の課題および生産時間の短縮、原料の効率化が実現。目標とする高精度な版厚生産が可能となり、新たな市場への対応が可能な体制を構築する事ができた。



日本電子精機株式会社の概要

国内唯一のフレキシ印刷関連消耗品メーカー

当社は昭和48年に電子基板メーカーとして創業。昭和54年よりフレキシ印刷関連へ事業展開して以来、フレキシ印刷を事業領域の核としている。社名の通り、機械関連が発端ではあるが、現在では機械+ケミカルメーカーとしてフレキシ印刷に関連するケミカル消耗品製造が主軸となっている。国内では唯一、世界でも数社しかないフレキシ樹脂版メーカーの一角であり、関連子会社（代表者兼任）の㈱ジェムインターナショナルを通してケミカル消耗品から化粧品に至る幅広い製品を展開している。



日本電子精機株式会社の企業理念

“オンリーワン”のモノづくり

当社の開発・製造スタンスは“オンリーワン”である事。あくまでもメーカーという立ち位置にこだわり、他社が模倣出来ないようなモノ、人の後追いでない独創性の高いモノ、顧客にとって“オンリーワン”であるモノを開発・製造する事である。40年以上そのスタンスを貫いた結果、現在では特許・パテントを50件以上保有するに至った。

今後も大手メーカーでは対応できないような小回りの利く事業を行い、顧客の細やかなニーズに対応できる体制を構築する。



溶出溶剤・現像溶剤



張り込み用両面テープ



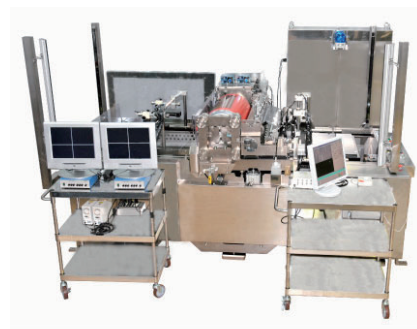
レーザーアブレーションフィルム



反射型高輝度ランプ

日本電子精機株式会社の製品紹介（一部抜粋）

プリンタブルエレクトロニクス・フレキシ関連・化成品の3本柱での事業展開



フレキシ印刷微細装置



フレキシ感光性樹脂版“ジェムフレックス”



ゲルシート“Jemgelee”

日本電子精機株式会社

業 種 分 類 印刷・同関連業

事 業 内 容 プリンタブルエレクトロニクスにおける微細印刷装置各種
感光性樹脂版材“ジェムフレックス”製造、各種消耗品
各種精密微細印刷装置、感光性樹脂版製版装置一式
化成品“jemgelee”

代 表 者 名 代表取締役社長 丸野 正徳

所 在 地 奈良県香芝市良福寺46-1

連 絡 先 TEL:0745-77-6951 / FAX:0745-77-6950

ホームページ <https://jemflex.co.jp/>

E - M A I L info@jemflex.co.jp